

事業報告

(2025年4月1日から2026年3月31日)

1 株式会社の現況に関する事項

当社は、北陸新幹線金沢・敦賀間開業に合わせてJR北陸本線の運行を担う第三セクターとして2019年8月に設立し、2024年3月16日に無事開業を迎えました。

開業2年目の当期は、さまざまな利用促進事業を実施するとともに、安全で安定的な運行の確保を最大の使命とし、安全・安定運行に努めました。

(1) 体制整備

組織体制については、開業後の課題に対応するため、2025年4月、総務企画部に経理課、運輸部に運輸管理課を創設しました。

人員体制については、JR西日本からの出向者169名、プロパー社員90名、県退職派遣者10名を合わせて269名の体制で開業しましたが、体制の強化に取り組み、2026年3月末現在、301名の体制となっています。

(2) 施設整備

開業後も引き続き、鉄道事業の運営に必要な施設の整備や設備等の調達を計画的に行いました。特に通学する高校生の利便性向上のため、新駅しきぶ駅を開業しました。

(3) 運賃・ダイヤ等

運賃については開業後5年目までは現在の水準を維持していきます。

ダイヤについては2026年3月に改正を行い、しきぶ駅の利用者に配慮したダイヤ設定や区間快速の設定など、更なる利便性の向上を図っています。

(4) 当期の鉄道事業

利用者数については、総数が7,808,707人で、1日あたりの利用者数は21,585人と、前年度の1日あたりの利用者数21,060人を2.5%上回りました。

券種別では定期外が開業後の好調な利用状況を維持しており、1日あたりの利用者数は前年度を2.8%上回りました。また、通勤定期・通学定期についても好調を維持しており、1日あたり利用者数は前年度を2.3%上回りました。

運輸収入については、総収入が20億385万円となり、定期外の好調な利用状況により、前年度実績を約300万円上回りました。

2 対処すべき課題

(1) 鉄道事業

①敦賀駅における特急列車等との接続改善

令和7年3月のダイヤ改正において、日中時間帯（9時～16時）の敦賀駅～福井駅間の列車を増発し、30分以内に乗換可能な列車を増やしました。

②列車混雑への対応

平日夕方の2両編成列車の一部で恒常的に混雑が発生し乗車できないケースが生じたため、当該列車を4両編成に増結して混雑を緩和しました。

③多客対応

多客期間や多数の参加者が見込まれるイベントの開催時等、通常ダイヤでは一時的に輸送力が不足する可能性が生じる場合には、臨時列車の運行等により一時的に輸送力を強化して対応しました。

特に多くの混雑が見込まれる場合は安全確保のために当該駅に係員を増員し、沿線市町と協力し対応しました。

(2) 利用者にわかりやすい利用案内

当社とIRいしかわ鉄道、JR西日本との連絡運輸の範囲やICOCAの利用範囲、敦賀駅での乗り換え方法、当社とJR北陸新幹線・特急との乗り換え時間について、ホームページや駅掲示等により、利用者にわかりやすい案内に努めました。

(3) 利用促進策

多客期間や多数の参加者が見込まれるイベントの開催時等、ニーズに応じた臨時便の運行や増結等により利用者を確保するとともに、以下の事業を実施し、新幹線開業により増加が期待される来県者等の取り込みを図りました。

【企画切符の販売】

- ・土日祝日、GW、お盆、年末年始限定で、当区間が1日乗り放題となるフリー切符の販売
- ・IRいしかわ鉄道、あいの風とやま鉄道と連携し、3区間が2日間乗り放題となるデジタルチケットの販売

【観光・イベント列車の運行】

- ・列車の中で新しい出会いを探す婚活列車を運行
- ・沿線市の園児が描いたハピライン車両の絵を車内に掲載
- ・着脱式テーブルを取り付けた営業列車を活用したビール列車を運行

【イベントの開催】

- ・ J R 西日本や地域鉄道と連携し鉄道フェスタの開催
- ・ 市町等が行う駅や駅周辺でのイベント開催時における駅舎等の使用やブース出店等の協力

【オリジナルグッズの販売】

- ・ ハピラインオリジナルグッズを製作し、オンラインショップやイベントで販売

【ハピラインファンクラブ会員限定イベント】

- ・ 駅のバックヤードツアーや限定グッズの販売会実施

(4) 人員体制

将来を担う優秀な人材を確保し開業から10年でJ R 西日本からの出向者を返還するため、中途採用を含む社員の採用を積極的に行うとともに、運転士や技術職員の養成など教育研修制度を充実させてきました。

計算書類

貸借対照表

(2026年3月31日現在)

(単位：千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)		(負債の部)	
流動資産	3,340,545	流動負債	1,741,593
現金および預金	1,563,804	未払金	864,555
未収運賃	263,641	未払費用	523,387
未収金	931,801	預り金	130,174
未収還付法人税等	24,505	未払消費税等	40,308
有価証券	301,814	未払法人税等	4,841
貯蔵品	209,042	預り連絡運賃	15,940
前払費用	24,766	前受運賃	108,108
その他	21,170	賞与引当金	52,908
		その他	1,369
固定資産	402,538		
鉄道事業固定資産	377,237	固定負債	342,753
建設仮勘定	20,318	退職給付引当金	49,720
投資その他の資産	4,982	補助金等受入金	46,068
投資有価証券	100	車両修繕引当金	246,560
その他	4,882	その他	404
繰延資産	659,403	負債合計	2,084,347
開業費	659,403	(純資産の部)	
		株主資本	2,318,140
		資本金	2,623,000
		利益剰余金	△304,859
		その他利益剰余金	△304,859
		繰越利益剰余金	△304,859
		純資産合計	2,318,140
資産合計	4,402,487	負債・純資産合計	4,402,487

(注)記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

損益計算書

(自2025年4月1日 至2026年3月31日)

(単位：千円)

科 目	金 額	
営業収益		4,413,210
営業費		4,502,686
営業損失		89,475
営業外収益		
受取利息	4,558	
受託工事収入	112,380	
雑収入	19,777	136,717
営業外費用		
創立費償却	0	
開業費償却	226,081	
受託工事支出	99,920	
支払利息	0	
雑損失	122	326,123
経常損失		278,882
特別利益		
補助金	1,339,291	
固定資産受贈益	5,339	
工事負担金等受入額	48,654	1,393,285
特別損失		
固定資産圧縮損	1,203,365	1,203,365
税引前当期純損失		88,961
法人税、住民税および事業税		15,275
当期純損失		104,237

(注)記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

株主資本等変動計算書
(自2025年4月1日 至2026年3月31日)

(単位：千円)

	株主資本				株主資本合計	純資産合計
	資本金	利益剰余金		利益剰余金合計		
		その他利益剰余金	繰越利益剰余金			
2025年4月1日残高	2,623,000	△200,622	△200,622	2,422,377	2,422,377	
事業年度中の変動額						
当期純損失(△)		△104,237	△104,237	△104,237	△104,237	
事業年度中の変動額合計		△104,237	△104,237	△104,237	△104,237	
2026年3月31日残高	2,623,000	△304,859	△304,859	2,318,140	2,318,140	

(注)記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。